

第8回 住み続けられる国土専門委員会

ソトモノ・ワカモノが地方移住にいたるまで
ー自身の経験と活動紹介からー

中越防災安全推進機構ムラビト・デザインセンター
井上有紀

Fei.
2016.8.15 早川食堂

自己紹介

井上有紀（いのうえ ゆき）



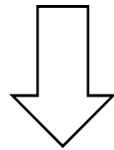
東京都八王子市出身。
2017年3月明治大学農学部卒業。

2017年4月より中越防災安全推進機構ムラビト・デザインセンター（にいがたイナカレッジ事務局）で働く。
インターンのコーディネート、大学生の募集を担当。

学生時代に休学して新潟市での米屋と「つながる米屋コメタク」として活動、その後イナカレッジの1か月インターンに参加し、卒業して事務局に就職。

私が移住するまで①

食べること
自然
体を動かすこと
が好き
⇒農業×途上国支援に興味



念願の農学部へ

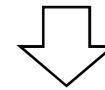
- 農業サークルで農家さんのお手伝い
- タイのカセサート大学へ留学
- 地域ガバナンス論研究室へ入室



私が移住するまで②



2014年の秋の出会い
「地域と若者をつなげる本屋
ツルハシブックス」



2015年4月
休学して新潟市内野町へ

商店街のお米屋さんと活動

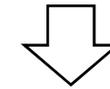
2人の女の子と1年間滞在



私が移住するまで③

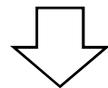


大学に戻り就職活動



4年の夏、
にいがたイナカレッジのインターンに参加

- ・やはり卒業後も新潟に行きたい
- ・大学生へ地域でのチャレンジの場を届けたい



にいがたイナカレッジ事務局である
公益社団法人中越防災安全推進機構に就職

2017年4月長岡に移住



現在行っている活動

① 地域滞在型インターン生とのコミュニケーション



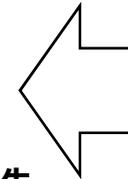
1年インターン生
年間5～8名
主に20～30代社会人



- 募集
- 地域の人とつなぐ場づくり
- トラブル対処
- 月に1回のミーティング
- 2か月に1回の研修会開催
- 成果報告会
- インターン後の進路相談・紹介
- 月報のチェック



1か月インターン生
年間15～25名
主に大学生



- 募集
- 地域の人とつなぐ場づくり
- 週に一回のミーティング
- 他地域のインターンとの交流・研修会開催
- 成果報告会
- インターン後の振り返りなど
- 日報のチェック返信



現在行っている活動

② インターン生以外の、「地域に興味がある」「何かやってみたい」「進路や学生生活に迷っている」10代~20代の若者とのコミュニケーション



つながる米屋コメタク



シェアハウス



インタビュー・企業訪問ツアー



旅と移住のあいだを考える研究会



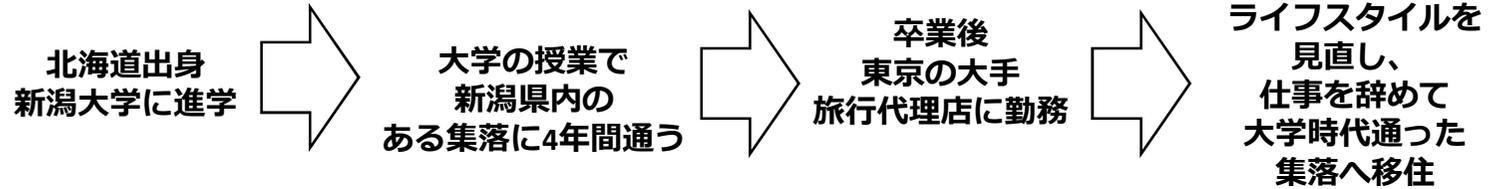
ツルハシブックス



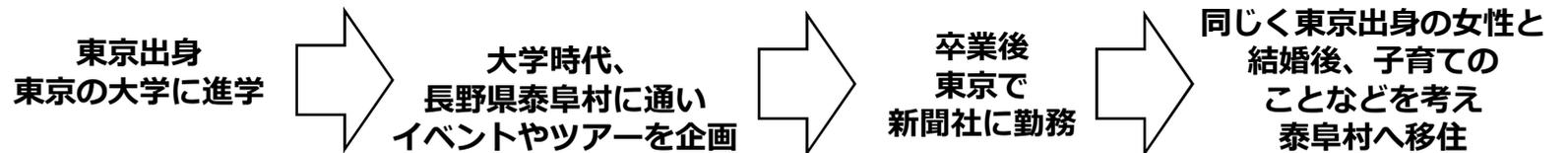
イベント出店

様々な人の「移住」

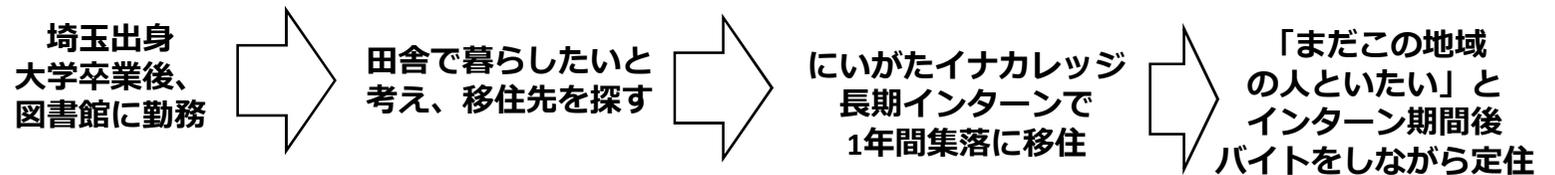

25歳 女性 独身




26歳 男性 既婚




29歳 女性 独身



若者の地方・移住への関心や行動の傾向について感じていること

- 「住みたい」と「住める」が重なった時が移住のタイミング。
 - ⇒ 「住める」の条件である家や仕事だけでは移住の理由にならない
 - ⇒ 「住みたい」を作るまでの様々な入口が重要

- 「創造的な活動をした場所」 or 「深い関係性のある人が居る場所」
に帰りたくなる瞬間が来る
 - ⇒ 学生時代関わったことが大きな影響
 - ⇒ すぐに移住には至らずとも学生時代の機会を増やすことが重要

- 自分の意思をもち移住した若い人は新たな人を呼び込んだり地域の人に
影響を与える力が強い
 - ⇒ 数が増えればいいのではなく、地域が豊かになる人が来てくれることが重要

- 地域へ入る初めの一歩には、キーマンとなる若者にとって魅力的な
「つなぎ手」がいる
 - ⇒ 外部と内部の言語をもち、地域や社会への思いがある人がつなぎ手に